

はしがき

英語のリーディング授業の目的は何でしょうか。その文章の内容を理解すること？ もちろんそれは必要なことです。しかし文章の内容自体の理解が目的ならば、同じ内容について最初から日本語で書いてある文章を読んだ方が早いでしょう。それをあえて英語で読むのは、そのようなトレーニングをすることによって、徐々に自力で英語を理解する能力を養成するためです。

このような一見当たり前に思えるようなことを敢えて確認したのは、英語のリーディング授業の目的が英語力の養成であることを忘れ、その文章の内容の把握を到達目標としたような学習方法をとる人が意外に多いからです。

たとえば英文を読んで日本語に訳すことばかりをしているとどうなるでしょうか。英文和訳とは、英文を読んでその意味を考え、それを日本語で表現しなおすという営みです。英文の意味を正確に把握するために日本語で表現してみることは確かに役立つ部分もあるのですが、英語力をのばす上では実は大きな落とし穴があります。それは、最後に到達するのが日本語であるため注意が日本語表現に集中してしまうことです。こうなると、記憶に残るのは日本語で表現された内容ばかりで、肝心の英語表現はさっぱり覚えていない、ということが起こりえます。

高校時代に、英文和訳が出題されるテスト対策として、和訳自体を丸暗記していった人はいませんか？ そのような作業はそのテストで点が取れたとしても、英語力を伸ばすことには無関係であることは言うまでもありません。英語力を高めるためには、英文を読んだ後で、「内容」自体ではなく、「内容を表していた英語表現」が記憶に残るような学習をしなければならないのです。

本書 *Reading in Action Basic* は、リーディングにおける内容の把握を到達点ではなくむしろ出発点ととらえ、その内容を表現していた英語を様々な活動の中でアウトプットすることで本文中の表現を身につけることを目標に編纂された *Reading in Action* (2009) の形式を踏襲しながら、より使いやすくするために本文の長さをやや短くしてタスクの種類を精選した、新しいタイプのリーディングテキストです。

授業中にはペアワークをしながら、たくさん英語表現を聞き、また口にできるように構成してあり、ひとつのユニットが終わった後には、(1) そのマテリアルで使われていた主要な語彙、表現、センテンスがすらすらと口をついて出るようになり、(2) その英文内容を簡単な英語で要約できるようになり、(3) 扱われていたテーマについて自分の意見がある程度言えて書けるようになる、ことを目標としています。

ご存じのように英語が使えることの重要性は年々高まるばかりです。みなさんは本書を活用して、自分の将来を切り開くための本物の英語力を是非身につけてください。

本書を使用される先生へ

本書は、内容を把握するための作業の時間を最小限におさえ、かわりに意味の分かった英語表現を何度も口にするための「ペアワーク」の時間を最大限に設ける、活発な授業展開を意図して構成されています。

しかし時間の都合等でペアワーク部分を含めるのが難しい場合には、指示文下にある「Aさん = ... Bさん = ...」の部分を省略すれば、正解の確認を中心とした能率的な授業を展開することも可能です。正解の確認にはダウンロード (DL) 音声あるいは本テキスト準拠の Class Audio CD をご利用いただけます。

このような柔軟な作りになっておりますので、授業の環境に応じてご活用いただけます。

【予習】

授業中には「パートナーがいなければできない作業」に十分時間をとるため、可能な限り予習段階で、すべてのタスクに自分なりの答えを書かせておくことをお勧めします。

【本文読解での授業の進め方】

本文は 250~280 語程度と、1 コマの中で扱うのに適当な長さになっています。

- 本文を伏せて音声を聞かせながら適宜止め、ポーズの直前の語（あるいは語句）を答えさせる。
- 意味の切れ目にスラッシュをつけさせる。
- 音声を流し、強く読まれている語を答えさせる。
- スラッシュ毎に、read-and-look-up（いったん作動記憶に格納し、顔をあげて言う活動）をさせる。
- 音声を流しながら適宜止め、先生がより簡単な英語で言い換えてゆく。
- 内容的あるいは表現的に大切な文をいくつか決め、集中的に音読させる、また DL/CD 音声を使ったシャドウイングをさせる。

などの活動（順不同）に使うことができます。

● True-False Practice

内容の確認というよりも、確認した内容を口頭で表現するためのタスクです。まず音声でどちらの語句を選べば True になるかを確認したら、A さんがいずれかの語句を選んで各センテンスを読み上げ、B さんは何も見ずに True か False かを言う、というペアワークができます。さらに可能なら、True ならばそのまま繰り返し、False ならば、True になるように訂正した文を言う、というペアワークをすると効果的です。

● Chunking Practice

与えられた日本語訳を頼りに、本文中の主要表現を抜き出すタスクです（修飾関係を意識させるため、本文中から「飛び飛び」に抜き出す必要がある場合を含めました）。A さんが日本語を言い、B さんはそれに当たる英語を何も見ずに言う、というペアワークができます。

● Defining Practice

本文中のキーワードとその定義をマッチングさせるタスクです。早い段階で正解を確認し、まず A さんが定義を読み上げ B さんがそれに当たる語を当てるペアワークを、次に A さんが語を選び B さんがその定義をできる限り再生するペアワークができます。定義すべてを再生するのが難しい場合は、A さんが 1 語のみ抜かした定義を読み上げ、B さんがその 1 語を当てるのもよいでしょう。

● Summarizing Practice

空所を補充して本文の要約文を完成させるタスクです。空所に当たる語が、内容的な記憶をたすけるような語であるよう設定しています。正解を確認したあと、A さんは空所に当たる語を読み上げ B さんはそれだけを頼りに出来る限りセンテンスを復元するペアワークができます。難しいようであれば、空所に当たる語に加え、読み上げる語を適宜増やしてもよいでしょう。50 語程度の要約文ですので、音読やシャドウイング、あるいは全文暗記させて言わせる、あるいは書かせる、といった活動にも使いやすいと思います。

● Commenting Practice

本文に関連した意見を表明した文に対して、自分が共感できるか否かを選ぶタスクです。賛成、反対が表明しやすいように敢えて一方的な意見も含めています。A さんがセンテンスを読み上げ、B さんは何も見ず、それに対して I agree. または Me, too. / I'm not sure. / I disagree. または Not me. などとひとことコメントするペアワークができます。次のレベルとしては、B さんが自分の意見を一文程度で簡単に言うペアワークができるでしょう。

例をあげてありますので参考にしてみてください。

さらにこの中の意見をふくらませて3～5文程度で自分の意見を書くライティング活動の出発点としても使うことができます。

【全体およびタスクの時間配分】

タスクごとに、ペアワーク（5分程度）→ 個人を指名して全員の前で練習成果の確認（5分程度）、というパターンを繰り返すことをお勧めします。こうすることで、ペアワークをやらせるだけで何もチェックをしないよりも、学生が真剣に取り組めます。「練習成果の確認」をした結果、「成果が不十分である」ことが判明したなら、そのことを指摘してもう一度ペアワークをさせることもさらに効果的です。

こうするとひとつのタスクが10分程度で終わります。10分程度ごとにタスクを変えてゆくことで、学生の集中力を維持しながら授業を効果的に展開することができるでしょう。おおよそ

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 本文自体を使った活動：約30分<input checked="" type="checkbox"/> タスクを使った活動：約10分×5種類 |
|--|

といったイメージを持っていただくと使いやすいかと思われます。

Contents

- Unit 1 Uniquely Japanese Hospitality** ポップカルチャー …… 2
メイドカフェの「お・も・て・な・し」
- Unit 2 “Time Machine” With a Flag on Top** 食文化 …… 6
「お子様」ランチでタイムスリップ
- Unit 3 Start and Finish Work Earlier** 仕事・ライフスタイル …… 10
早起きは残業代の得
- Unit 4 Humanoids in the Aging Society** テクノロジー・社会 …… 14
ロボットと暮らす未来
- Unit 5 No Longer a Man’s World** ジェンダー・労働 …… 18
建築現場に女性の息吹
- Unit 6 What Will the 2020 Games Give Us?** 歴史・イベント …… 22
ふたつの東京オリンピック
- Unit 7 Your Name Is Not on the List** 社会問題 …… 26
戸籍がない人々の現実
- Unit 8 When Quakes Hit, Eruptions May Follow** 自然・災害 …… 30
火山と地震のこわ〜い関係
- Unit 9 As Young as 70 Years Old** 高齢化社会・仕事 …… 34
バリバリ働く高齢者
- Unit 10 The Music Industry Needs to Change** 音楽 …… 38
握手会が握る音楽業界の未来
- Unit 11 Don’t Kill Lions to Prove Manhood** 生態系・スポーツ …… 42
マサイ族の伝統と野生動物保護
- Unit 12 How About a Nose Job in Malaysia?** 医学・海外 …… 46
医療は気軽に海外で
- Unit 13 Bats Carry Ebola but Don’t Get It** 生物・医学 …… 50
なぜコウモリはエボラにかからない
- Unit 14 Animals’ “Human” Rights!?** 生物・論争 …… 54
オランウータンに「人権」を！
- Unit 15 Dilemma of Hippocratic Oath** 医学・論争 …… 58
医者は患者の死を補助すべきか

Uniquely Japanese Hospitality

メイドカフェの「お・も・て・な・し」



左より、きつね、優歌、しい（撮影／櫻井孝昌）

Foreigners drawn to maid cafes

CD1-02 ~ CD1-06

1 Japan has enormous potential to become a great tourism power in the world, as
 2 it has many things available only in Japan. One of those things is “maid cafes,” a
 3 creation of Japan.

4 While many foreign tourists want to go to maid cafes as customers, some young
 5 foreign women want to work as waitresses in them. Three such women work at the
 6 @home cafe in Akihabara. They are Yuuka of South Korea, Sii from Taiwan, and
 7 Kitsune from Russia.

8 “I’m in Japan on a working holiday program. I wanted to do something I could
 9 only do in Japan.” Sii said about why she wanted to work at a maid cafe. Yuuka
 10 said, “I like singing and dancing, so I got interested in the @home cafe.” Kitsune
 11 said, “I like anime and came to know about maids through anime.”

12 The three enjoy meeting *goshujinsama* (meaning “master” and used for male
 13 customers) and *ojosama* (meaning “my lady” and used for female customers) from

various countries. “I’m happy I can introduce many things about Japan to people 14
from overseas,” Yuuka said. Asked how she feels about Japan from the viewpoint 15
of a service industry worker, she said, “Japan is a very easy place to live for people 16
who have hobbies they’re devoted to. I also think the people who provide products 17
and services are highly aware of what consumers want.” 18

Precisely targeted, fine services and products are characteristic of Japan’s 19
business traditions. This will further attract people from overseas not only through 20
exports, but also through tourism-related services. (255 words) 21

Notes

【1.1】 enormous potential 大きな可能性 【1.3】 creation 創りだされたもの 【1.8】 working holiday ワーキングホリデー 【1.15】 Asked how ... (=When she was asked how ...) 【1.15】 viewpoint 視点 【1.16】 service industry サービス産業 【1.17】 devoted 夢中になっている 【1.18】 highly aware 強く意識している 【1.19】 precisely targeted 特定の客層を狙った



True-False Practice



DL 02



CD1-07

[] 内のどちらの語を選ぶと true になるか考え、音声で確認しましょう。



Aさん=どちらかの語を選んで文全体を音読する

Bさん=何も見ないで Aさんの文を聞き、それが true か false かを判定する

1. There are [many / few] things in Japan that exist only in Japan.
2. This is a report on three foreigners who [visited / are working as waitresses in] a maid cafe.
3. Waitresses probably [have / do not have] a chance to sing or dance at the @home cafe.
4. Yuuka enjoys introducing things [Korean / Japanese] to non-Japanese customers.
5. Yuuka feels it is [easy / difficult] in Japan for people to pursue their hobbies.

Chunking Practice

DL 03 CD1-08

次の日本語に相当する表現のかたまり（数字は語数を表します）を、本文中から抜き出し、音声で確認しましょう。



Aさん=教科書を見ながらランダムに日本語を言う

Bさん=何も見ないで Aさんの日本語に該当する英語を言う

1	大きな可能性を秘める (3)	
2	観光大国 (4)	
3	日本でしか手に入らない (4)	
4	客として行きたい (5)	
5	ウェイトレスとして働きたい (5)	
6	ワーホリのプログラムで (5)	
7	アニメを通じてメイドのことを知った (7)	
8	様々な国から来た顧客 (4)	
9	労働者の視点から (6)	
10	サービス産業労働者 (4)	
11	とても住みやすい場所 (6)	
12	製品とサービスを提供する (4)	
13	消費者が何を欲しているか分かって (5)	
14	対象客層を絞ったサービス (3)	
15	日本の伝統に特徴的で (4)	

Defining Practice

DL 04 CD1-09

定義に当てはまる語を下の枠内の語から選んで書き、音声で確認しましょう。



Aさん=教科書を見ながら定義を言う

Bさん=何も見ないで Aさんの言う定義に該当する単語を答える

1. () = able to be obtained or used
2. () = a person who buys goods or services
3. () = to give or to supply
4. () = having knowledge of a situation or fact
5. () = a product which is sold abroad

provide aware available export customer

Summarizing Practice

DL 05 CD1-10

() に適語を入れて本文の要約を完成させ、音声で確認しましょう。



Aさん=センテンスごとに、() に入る単語だけを読み上げる

Bさん=単語を聞いたら、何も見ずにセンテンス全体を復元する

Maid cafes are one of those things that can be found (o) in Japan
 and many foreigners are (a) by them. Some even experience
 the Japanese (c) from inside by working as (w).
 The three girls reported in the article say they (e) the job.

Commenting Practice

1～5の意見について、自分の気持ちを下の3つから選んでみましょう。

AG I agree. または Me, too.

NS I'm not sure.

DA I disagree. または Not me.

1	I want to go to a maid cafe as a customer.	AG NS DA
2	I would enjoy working at a maid cafe.	AG NS DA
3	I think maid cafes are sexist.	AG NS DA
4	I want more people in foreign countries to know about Japanese maid cafes.	AG NS DA
5	To be honest, I think grownup men who go to maid cafes are kinky.	AG NS DA



Aさん=教科書を見ながら1つずつ意見を音読する

Bさん=何も見ないで Aさんの意見に対しコメントする

例 A: I want to go to a maid cafe as a customer.

B: Me, too. Actually, I have my favorite maid cafe in Akihabara.

または B: Really? I don't. I think those maids look like idiots dressed like that.